

「こおりやまの米」通信

平成28年1月13日



郡山市
イメージキャラクター
「かくとくん」

編集：郡山市
JA 郡山市 (Tel. 921-0724)
NOSAI 郡山田村 (Tel. 933-3307)
県中農林事務所農業振興普及部 (Tel. 935-1310)

発行：郡山市農作物生産対策協議会 (郡山市園芸畜産振興課 TEL924-3761)

Vol.9 最終号 (生育調査ほ結果)

1 気象経過

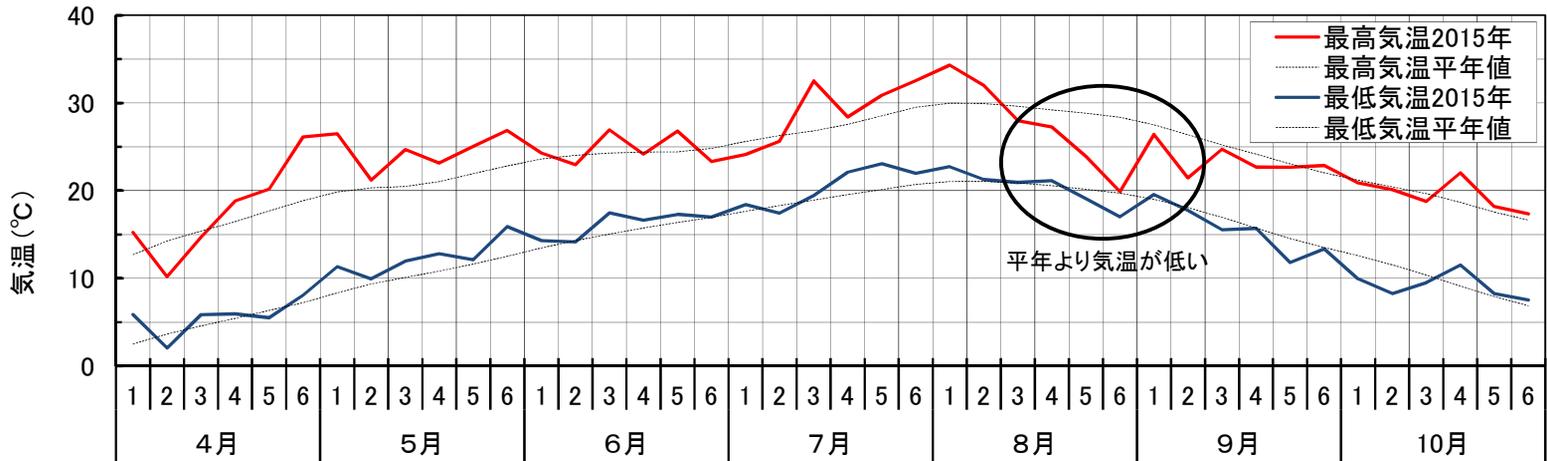


図 最高・最低気温の推移(アメダス郡山、2015)

2 生育概況

(1) 生育初期～分けつ期

ア 播種盛期は、4月17日で平年並みとなりました。4月6半旬から気温の高い日が続いたため、苗の徒長が目立ちました。また、5月以降も高温が続き、苗やけが発生したほか、もみ枯細菌病の発生がみられました。

イ 田植期は気温が高く経過したため、盛期が5月13日で平年より3日早まりました。活着は概ね良好でした。

ウ 分けつ期は平坦部では草丈が平年並み、茎数は平年並みからやや多くなりました。湖南地区では、草丈は平年並み、茎数はやや多くなりました。

(2) 幼穂形成期～出穂期

ア 7月16日の生育調査の結果では、平年と比べ草丈がやや短く、茎数は多く、葉色は平年並みでした。また、「コシヒカリ」の幼穂形成期は平年並みとなりましたが、その他の品種では平年に比べ1～3日早まりました。

イ 管内全体の出穂盛期は、8月8日で平年より2日早まりました。品種別でみると、「コシヒカリ」が8月9日で平年より2日早く、「ひとめぼれ」は8月1日で平年より4日早く、「天のつぶ」は8月2日で平年より6日早く、湖南地区の「あきたこまち」は8月1日で平年より5日早くなりました。

(3) 登熟期～刈取期

ア 8月3半旬以降気温が平年を下回り、登熟は緩慢になりました。

イ 全体の刈取盛期は、平年並の10月12日で平年より1日遅くなりました。10月上旬から好天が続きましたが、刈取り終期は平年より3日遅い10月24日となりました。

	播種期(月/日)			田植期(月/日)			幼穂形成期(月/日)			出穂期(月/日)							刈取期(月/日)		
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	コシヒカリ	ひとめぼれ	あきたこまち	始期	盛期	終期	主要品種別				始期	盛期	終期
													コシヒカリ	ひとめぼれ	天のつぶ	あきたこまち			
本年値	4/9	4/17	4/23	5/9	5/13	5/24	7/17	7/10	7/9	8/1	8/8	8/13	8/9	8/1	8/2	8/1	9/29	10/12	10/24
平年値	4/9	4/17	4/24	5/11	5/16	5/27	7/17	7/11	7/12	8/2	8/10	8/16	8/11	8/5	8/8	8/6	9/27	10/11	10/21
平年差	0	0	-1	-2	-3	-3	0	-1	-3	-1	-2	-3	-2	-4	-6	-5	2	1	3

3 作柄及び品質

(1) 作柄：東北農政局福島支局が公表した水稻の作況は、田植期以降8月上旬まで天候に恵まれたものの、8月中旬から9月上旬の気温・日照時間が平年を下回って経過し登熟が「やや不良」となったことから、郡山市の10a当たり収量は551kgで前年の558kgに比べて7kg減少しました。

(2) 品質：JA郡山市の検査結果では、11月末現在の水稻玄米1等米比率は、87.6% (2014年同期92.7%) でした。2等以下に格付けされた主な理由は、心白及び腹白が24%、整粒不足が21%でした。殺虫剤の散布や、色彩選別機の導入等により、カメムシ類による斑点米は7%となりました。

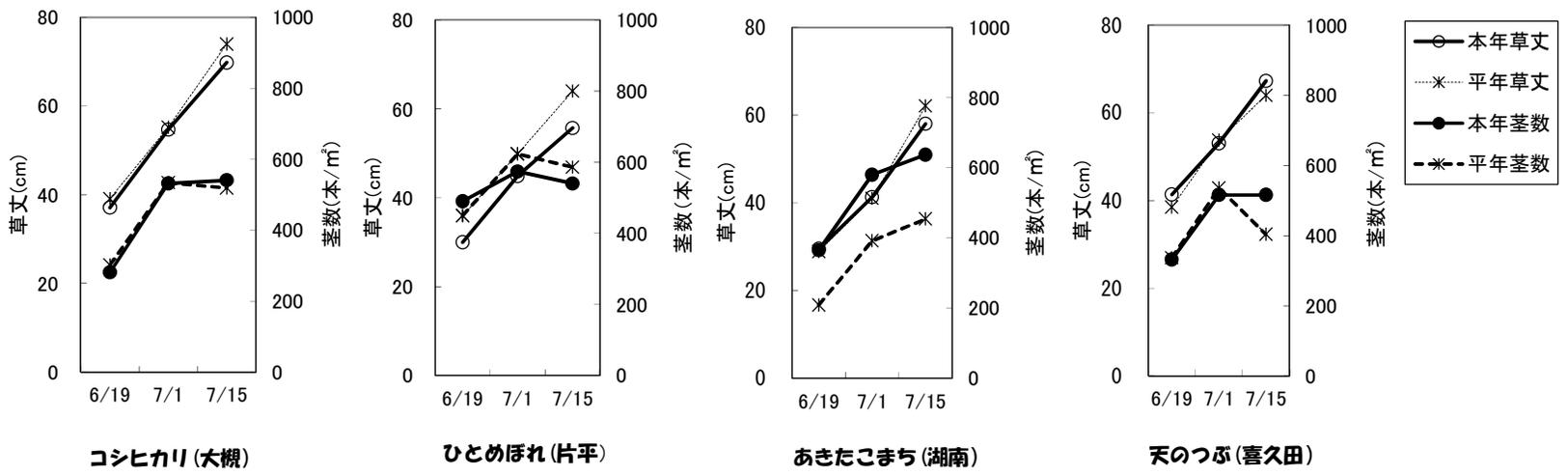


図 草丈と茎数の推移(平年値は直近5カ年の平均値、但し天のつぶのみ直近4カ年)

4 生育調査ほ調査結果

- (1) 「コシヒカリ」は籾数及び登熟歩合が平年を下回ったため、精玄米重は平年より少なくなったと考えられます。
- (2) 「ひとめぼれ」は籾数が平年を下回ったため、精玄米重は平年より少なくなったと考えられます。
- (3) 「あきたこまち」は、 m^2 当たり籾数が平年より増加しましたが、登熟歩合が平年を下回ったため、精玄米重は平年より少なくなったと考えられます。
- (4) 「天のつぶ」は m^2 当たり籾数が平年より減少したため、精玄米重は平年より少なくなったと考えられます。

場所	品種	総重 (kg/10a)	わら重 (kg/10a)	籾数		精籾重 (kg/10a)	粗玄米重 (kg/10a)	精玄米重* (kg/10a)	千粒重 (g)	登熟歩合 (%)
	平年値			(粒/穂)	(100粒/ m^2)					
大槻	コシヒカリ	1,635	819	67	316	746	623	567	22.7	71
	直近5カ年	1,623	731	86	323	838	672	640	22.3	82
片平	ひとめぼれ	1,174	522	44	219	607	516	506	23.4	93
	直近5カ年	1,426	630	59	319	755	609	597	22.8	88
湖南	あきたこまち	1,603	624	76	389	893	747	704	23.3	75
	直近5カ年	1,639	670	86	366	918	751	735	22.2	87
喜久田	天のつぶ	1,428	634	74	269	741	630	613	23.7	89
	直近4カ年	1,683	742	71	326	876	722	706	23.0	87

*精玄米重はふるい目幅1.8mm以上で選別された玄米の重量

エコファーマーに なりませんか？

エコファーマーとは、持続農業法に基づき、「持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画」を作成し、県知事の認定を受けた農業者を指します。

将来にわたって持続的な生産が営まれることは、肥料・農薬の低減になり、長期的には環境にやさしい農業にも繋がることから、農業者のみならず、消費者にとっても大変有意義です。ぜひ取組目標を立て実践しましょう。

【取組の例】水稻(コシヒカリ)の場合

- 完熟堆肥の施用(1t/10a) + 畦畔雑草の機械除草
- + 有機質肥料の施用(化学肥料窒素成分 4.8kg/10a 以下)
- + 化学農薬使用回数9回以内

「倒れない」、「いもち病に強い」、「収量・品質が高い」、「良食味」の福島県オリジナル品種

「天のつぶ」を作ろう。

「天のつぶ」は、平成7年に、福島県農業総合センターにおいて、耐倒伏性が強く、玄米品質が良好な良食味品種を目指し育成を始め、15年の歳月をかけて完成した県のオリジナル品種です。

稈長は「ひとめぼれ」より短くて倒れにくく、穂数は「ひとめぼれ」より少なく「コシヒカリ」よりやや多い品種です。粒が大きく、収量は「コシヒカリ」より優ります。

品質は、白未熟粒等の発生が少なく、「ひとめぼれ」、「コシヒカリ」と比べても良好です。

作りやすい品種ですので、みんなで取り組みましょう！

健全な種子の確保にご協力願います！

郡山市には水稻の種子を生産する採種ほがあります。「ばか苗病」が採種ほ周辺で発生した場合、採種ほで生産する種子に感染する危険があり、健全な種子の生産及び安定供給に支障を来します。

このため、自家採種は行わずに種子更新をしてください。

また、飼料用米の作付に際しては、種子更新のほか、未消毒の場合は種子消毒を確実に行ってください。